

# 途上国における環境技術関連事業の効果的 遂行のための、適正技術に関する情報収集・ネットワーク形成と、普及・啓発活動

活動地域  東京都

ひろげる助成  
**3年目**  
知識の提供・普及啓発

イベント参加者(累計) **2,162名**

包括的フレームワーク  
賛同団体 **17団体**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **85%**



ハイレベル政治フォーラムサイドイベント

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、海外渡航をとまなう調査や、会議室に集まって開催する形式のセミナー等ができなくなりました。

### ■ 工夫した点

オンラインツール (Zoom) を活用し、セミナーや調査をオンラインで実施することで、方法や形式は異なっても、目指すものの実質は達成できるように努めた。

## 課題

国際協力を効果的に進め、持続可能な成果を上げるためには、適正技術を開発・普及させていくことが欠かせないが、そのための情報基盤とネットワークがない。

## 目標

適正技術に関わる情報基盤を整備し、その周知とネットワーク形成を行い、関連事業の形成を促進する。

## 活動内容と成果

- 雑誌36冊、報告書3冊収集
- インドの1団体をオンライン調査。適正技術事例6件とともに報告書にまとめ、200部発行
- セミナー 4回開催。平均38.5人参加
- インドネシアでのワークショップをオンライン開催。1,896人参加
- 参加者へのアンケート結果から大半の方が適正技術への理解を深めたことが知られた
- 情報公開に916件のアクセスがあった
- 国際会議にて、〈持続可能な開発のための適正な技術選択に関する包括的フレームワーク〉の発表を2回実施
- コンサルティングサービス3件実施



適正技術の事例 (山仙プール式炭化平戸)



インドネシアでのオンラインセミナー開催

## 全助成期間の活動を振り返って

適正技術関連情報の体系的収集と周知、セミナー・国際会議等の開催、コンサルティングなど当初予定していた活動に加えて、新たに、〈持続可能な開発のための適正な技術選択に関する包括的フレームワーク〉並びに〈脱炭素社会構築のための適正な技術選択に関する提言〉を策定し、発信開始した。これらにより、今後の持続可能な開発に向けて、適正な技術を選択し、実践していくためのプラットフォームが形成されつつある。

〒110-0003  
東京都台東区根岸1-5-12 井上ビル2F  
電話：03-3875-9286  
E-mail：tokyo-office@apex-ngo.org  
HP：http://www.apex-ngo.org/



## 今後の展望

本事業から派生した、上記の包括的フレームワークを活用した持続可能な社会形成の促進事業に取り組む計画である。周知活動、大学のカリキュラムへの取り入れ、適正な技術選択の事例収集と、その包括的フレームワークによる評価、国際的対話と、国際協力によるモデル事業の促進がその主な内容である。包括的フレームワークに沿った技術選択をすることにより、社会的評価が得られ、資金調達もしやすくなるような状況をつくりたい。